◎各ご家庭に配布しております。一部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は2月20日（木）発行の予定です。
「まちかど」カラー版は、品川区役所ホームページからご覧いただけます。https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

●荏原第一地域新聞●

第202号
令和2年（2020）1月発行

発行・事務局
◎荏原第一地域センター◎
小山3-22-3（〒142-0062）
TEL　3786-2000
FAX　3786-5385

長野で宿泊研修会開催

荏原第一連合町会

松本城にて記念撮影

荏原第一連合町会による宿泊研修会が、11月10日から1泊2日の行程で長野県で行われました。

この研修会は、各町会長や町会員が参加して親睦を深めると共に、区外視察を通して、今後の地域活性化に役立てようと毎年実施されています。

今年の研修会では、国宝である松本城の城内見学や、木曽の宿場町の散策等を行いました。宿は長野県下伊那郡阿智村智里にある「昼神グランドホテル天心」。南信州に位置する静かな山間の歴史ある温泉郷の昼神温泉にて、日ごろの疲れを癒しました。

今年は総勢40名の地域の皆様にご参加いただき、研修会は大成功に終わりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

（事務局）

トピックス　町のロボット屋さん

～宇宙に向けて一翼を担う　(株)小野電機製作所～

皆さん、私たちが暮らす町に、宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）に関わる町工場があることをご存じですか。今回、最先端の技術をもつ町工場、小野電機製作所（1947年設立）の代表取締役・小野芙未彦さんにお話を伺いました。

首都高速の荏原インターと戸越インターの間にある町工場。三十数年前までは、電気機械や半導体関連の機械部品の製造が主でしたが、大学の工学系研究室との取引をきっかけに、研究用ロボット（宇宙・海洋・医療・福祉・極限作業・建設支援・バーチャルリアリティー等）や研究用実験装置の受託をしております。

社内には「三度の飯よりロボット好き」が集まった設計部員と「最先端工作機械」を使いこなす製造部員と「提案営業」を心がける営業部員が三位一体となり、受注から納品まで一貫体制で対応しております。

今までに全くない要求仕様の装置を依頼されることもしばしばあり、毎日が「ワクワク」ですが「ヒヤヒヤ」することも多々あります。

時には、顧客から要求されている仕様の製品を上手く造れず、連日の残業や休日出勤で、工場を操業することも多く、ご近所には大変ご迷惑をおかけしております。

『試作屋貧乏』という町工場の言い伝えの通り、なかなか売上を伸ばすことが出来ませんが、世の中に無い製品が完成した時の喜びと満足感を味わいたく、社員一同奮闘しつつ仕事に取り組んでおります。

ＪＡＸＡからは、小型ソーラー電力セイル「ＩＫＡＲＯＳ」の機構部の試作や惑星探査クローラー「健気（けなげ）」を受託しました。荏原地区は地の利があり（交通の便が良い）、地域の皆様にも支えられております。

月面探査ローバー
（ＪＡＸＡから設計・製造を受託）

ます。今後とも宜しくお願い申し上げます。

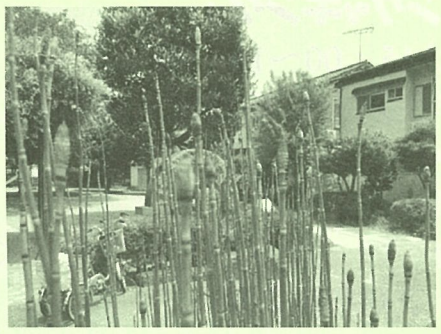
（代表取締役・小野　芙未彦（ふみひこ））

まちを歩いていると沢山の発見があります。まち歩きを通して、自分の暮らすまちを知っていくことも楽しいかもしれません。

（中原共和・青木　富代）

花めぐり

トクサ



小山二丁目の平さま大あさひ公園に小さな苗を5株植えました。今では大きな株になり、1年中青々と1mほど真っすぐ伸びています。茎の表面はザラザラして、土筆の仲間で、ハカマがあり、夏頃には茎の先端に茶色の花が咲きます。

青竹に似たような緑色で、庭植え、生け花の材料に使用されているようですが、名前の由来どうりザラザラしているので金属や木材、爪などの砥研磨剤として使用され、昔は歯磨きにも使用されていたようです。

かなり昔からある植物で、日本古書の和漢三才図会には、「物を磨く砥石の如し」とあり、そこから木賊（とくさ）となったとのことです。

花言葉は、「率直」「非凡」。

（小山２丁目東部・山内　静子）

シリーズ　品川平塚剣友会②

～剣道の心得～

スクエア荏原の前身である平塚小学校で産声を上げた、品川平塚剣友会も36年を経ることになります。

現在は会員数も増え、幼稚園年長の幼児、小学1年生から大人まで、総勢37名に到っております。発足当時に比べると子供の数は三分の一程度ですが、それだけに大切な剣道界の金の卵です。大事に育ててまいります。

新加入の児童達には、実技指導の前にまず大きな声で挨拶、朝起きたらおはよう、寝る前におやすみの声をきちんと出すことが本当の剣道の精神につながると教えます。まずは道場に来ることが楽しいと思って頂くことを大切にしております。

昭和の剣聖、剣禅一致のご指導なされた小川忠太郎範士九段のやさしく諭していただいた言葉、『剣道は、正しく、楽しく、仲良くの精神を持って。』剣道は子供と指導者の気合が一致しなければ正しく通じません。子供たちにも理解していただき、指導者もこれをモットーに日々剣道を楽しんでおります。

（荏原3丁目・池田　晴夫）

防災☆ワンポイント

（東京都発行「東京防災」より）

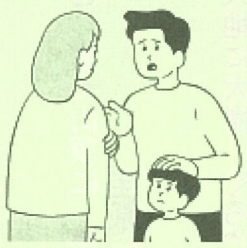
●避難の判断

正しい情報を得る

揺れが収まった後、間違った情報に従って行動すると危険な目にあいかねません。行動する前に必要なのは、正しい情報を得ること。停電時でも聞ける電池式のラジオ（または充電式など）やテレビ、そのほかスマートフォンのラジオ・テレビ、消防署や行政のサイトなどから正しい情報を得るようにします。

SNSを活用する

TwitterやFacebookなどのSNSは貴重な情報源です。しかし災害時は、不正確なうわさや情報が流布することがあります。うわさをそのまま信じることなく、正しい情報を得るように心がけましょう。



家族の状況を確認

発災時は自分の命を守ることで精いっぱいで、自分の手や足から血が流れていたり、誰かがケガをしていても気付かない可能性があります。揺れが収まったら、一緒にいる家族同士でケガがないか、家に危険がないかを確認します。

家の内外を目視する

一緒にいる家族の状況が確認できたら、次は家の中をチェックします。火の始末はできているか、避難するための経路は確保できているか。ラジオなどの情報に耳を傾けながら、しっかりまわりの状況を目視します。